

広報

おはま

「潮」無限大」感動おはま
10
2015



《表紙》

参加者が食に関する知識や技能を3人1組で競い合う「御食国食育チャレンジ」が開催されました。小学生、中学生、教員の全20チームが参加し、クイズや包丁さばきなどで競い合ったあと、野菜を使った調理の体験も行われました。
(食文化館・8月26日)

《今月の題字》

きむられお
小浜小学校6年 木村玲生 さん

【特集】 さあ、まちづくりを考えよう！

さあ、まちづくりを考えよう！



左上：手作り風車設置（中名田）、左下：茶摘み（遠敷）、右上：敬老会（小浜）、右中：竹工作（内外海）、右下：田んぼアート田植え（今富）

地域課題の解決や地域資源を生かしたまちづくりに取り組む「地域協働型まちづくり事業」に、今年度から小浜・内外海・遠敷・今富・中名田の5地区のまちづくり協議会が、モデルとして取り組んでいます。より多くの住民がまちづくり協議会に参画することで、これまで以上に住民の意思が反映された、自主的なまちづくりが進むものと期待できます。

モデル事業が始まって半年、各地区の現状や課題を共有することで、これからのまちづくりに生かしていくために、まちづくり協議会の代表者5人による座談会を開催しました。

■問い合わせ

市民協働課 ☎内線372

現状を変えるために

坂下 私は、もともと「田村のまちづくり委員会」の代表をしていて、協議会立ち上げの際に地区のみんなに働きかけを行った関係から、引き続き代表をお受けしました。会合などでも区長会長の次席になり、責任

を感じています。

赤坂 遠敷地区では、市から協議会立ち上げについて提案があった際、団体懇親会の場で話し合いをしました。そこで、「この集まりを協議会として発展させていこう」という意見が出て、協議会を立ち上げることになりました。

川代 内外海地区では、各団体がそれぞれ個別に活動していましたが、マンネリ化で予算消化型になっていた面がありました。昨年、市から、協議会を立ち上げてモデル事業に取り組んでほしいというお話をいただき、現状を変えるためにやってみようということになりました。

一圓 苦勞した点では、私は小浜市生まれではないので、幼い頃から知っている間柄の方がおらず、人のつながりで困ることはありません。

木下 初めは、単なる団体長の集まりになるのではないかと心配していましたが、しかし、趣旨を説明して役員をお願いすると、断る方は一人もおらず、みんな快く受けてくれました。いくつかの団体が合同で何かをすることに、おもしろさを感じていたのだと思います。



リーダーの育成が課題

川代 内外海地区では、次世代のリーダーの育成が課題になっています。私たち役員も、研修などを通じてまちづくりの進め方を学んでいるところです。

坂下 中名田地区では、協議会の役員を若手が占めています。年配の方でもやってくれる方はいるのですが、次のリーダーを育てなければなりません。そのために、代表が推薦する理事に若手を抜てきし、リーダーの育成に取り組んでいます。

木下 小浜地区では、各種団体長で協議会が組織されていますので、1

年単位で多くの会員が代わっていきます。その中で継続性が持てるよう、中名田さんのように、次のリーダーを育てられるような体制は参考になります。

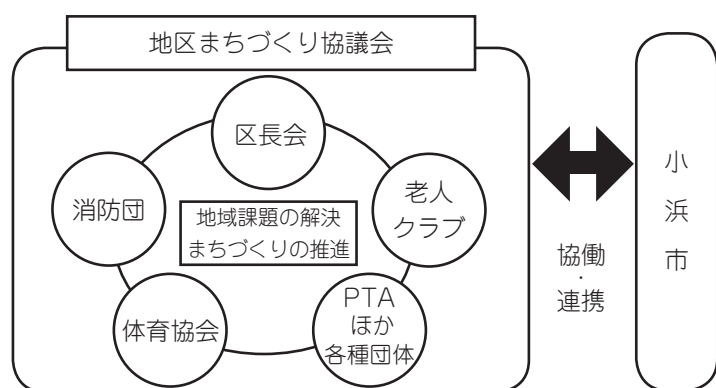
一圓 今富地区は、地区外から新しい人がたくさん入ってきているため、昔からの住民との融合が課題です。若い人が加入する組織が無いので、人材を把握しにくい面があります。規模の小さい地区と大きい地区では、まちづくりのやり方を変えないといけないのかもしれない。

赤坂 遠敷地区でも、新興住宅地ができたときに、新しく来られた人たちに声をかけるべきか迷っていました。しかし、いざ声をかけてみると、地区の団体に入っすぐに溶け込んでくれたという声を聞きました。初めのうちに参加を呼びかけていくことが大切だと思います。

川代 内外海地区は、4人の副会長のうち2人を、若い女性が担っています。積極的に動いてくれるので大変心強いです。

「まちづくり協議会」ってどのような組織？

※イメージ図



「まちづくり協議会」とは、より多くの地域住民が参画し、自ら地域の課題について考え、地域資源を生かした地域づくりに取り組む、地域・住民主体のまちづくりを進める組織です。

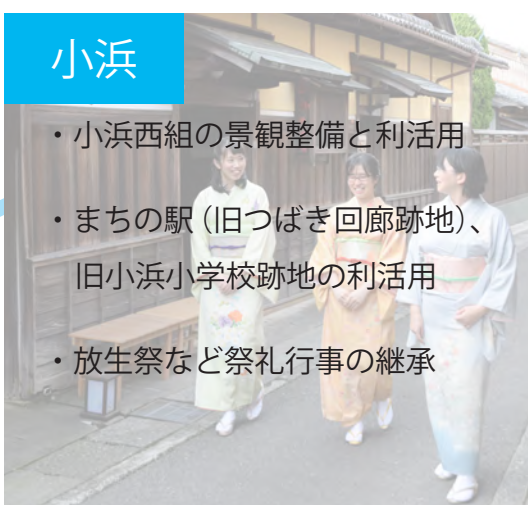
祭り、行事の継続、復活や、地域内環境の保全、生きがいつくりなど、住民にとって真に住みよいまちづくりを進めるために取り組んでいます。



田村のゆめづくり協議会 代表 坂下 憲治さん (54歳・上田)
今富まちづくり協議会 会長 一圓 敏彦さん (77歳・多田)
遠敷地区コミュニティ協議会 会長 赤坂 登紀雄さん (64歳・国分)
内外海地区まちづくり協議会 会長 川代 雅和さん (57歳・西小川)
小浜地区まちづくり協議会 代表 木下 弘昭さん (55歳・駅前町)

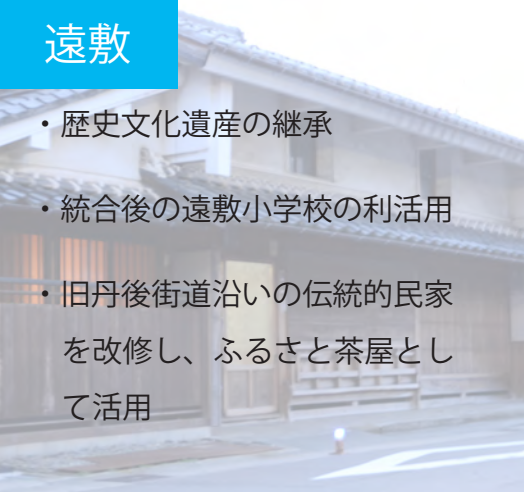
小浜

- ・小浜西組の景観整備と利活用
- ・まちの駅（旧つばき回廊跡地）、旧小浜小学校跡地の利活用
- ・放生祭など祭礼行事の継承



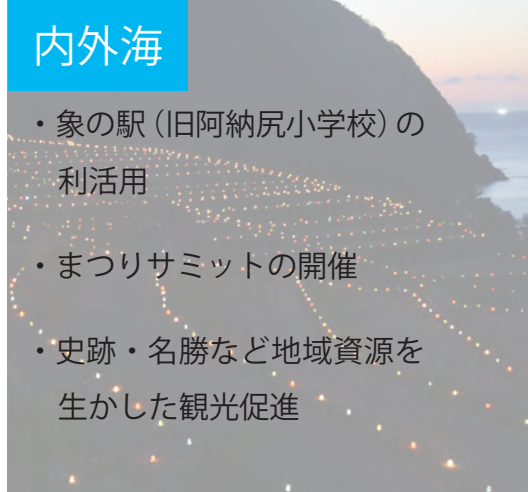
遠敷

- ・歴史文化遺産の継承
- ・統合後の遠敷小学校の利活用
- ・旧丹後街道沿いの伝統的民家を改修し、ふるさと茶屋として活用



内外海

- ・象の駅（旧阿納尻小学校）の利活用
- ・まつりサミットの開催
- ・史跡・名勝など地域資源を生かした観光促進



5地区が目指す

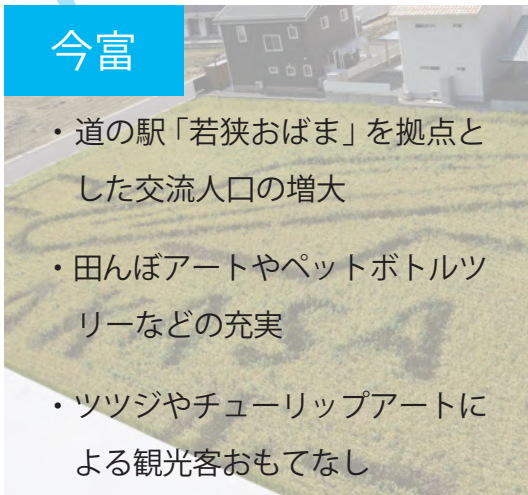
将来像

※主なものを掲載しています



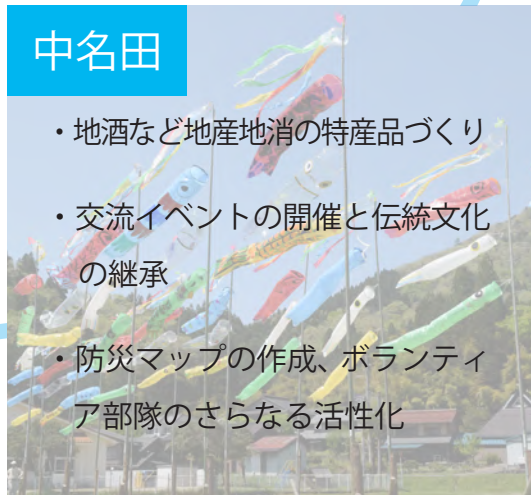
今富

- ・道の駅「若狭おばま」を拠点とした交流人口の増大
- ・田んぼアートやペットボトルツリーなどの充実
- ・ツツジやチューリップアートによる観光客おもてなし



中名田

- ・地酒など地産地消の特産品づくり
- ・交流イベントの開催と伝統文化の継承
- ・防災マップの作成、ボランティア部隊のさらなる活性化



赤坂 遠敷地区は、協議会役員のほとんどが男性なので、今後女性役員を増やして、女性の意見を取り入れていくことで、さらにすばらしいまちづくりができると思います。

木下 公民館の館長の存在も大きいですね。館長さんが積極的に動いてくれると、協議会の運営もまちづくりもうまくいくと思います。

坂下 中名田地区の館長さんは、綿密な連絡や事業の準備をしてくれるので、とても助かっています。

大事なのは、自分たちも楽しむこと

木下 老若男女みんなが一緒に活動できる協議会にしていきたいですね。いろいろな人が集まっているので、可能性はあると思っています。

坂下 今は心地よく活動させてもらっています。あとは、参加者を広げていきたいですね。最近では、自分から参加したいという方が増えてきたので、「中名田にこの会あり」という大きな団体にしたいです。

一圓 どうやって参加者を増やすか、いかに無関心の人を呼び込むか、というのが課題ですね。

赤坂 子どもが楽しめるイベントは大切ですね。8月に開催した「天の川夏まつり」でも、子どもが参加できる楽しい催しを企画したので、にぎやかで祭りらしい雰囲気になりました。

川代 子どもが一つのキーポイントになりそうですね。ふるさとまつりなどでも、子どもが主体となる時間帯は人が集まりますが、それが終わると少なくなります。今年はそれを変えようと、地区の伝統行事を一同

に会する、子どもも大人も巻き込んだイベントを企画しています。

坂下 やはり、自分たちも楽しめるイベントをしなければ人は集まりません。中名田では、老人クラブや小学校などを巻き込んだ活動を行っている、すごくおもしろく、楽しい地区になっています。都会から若い人に帰ってきてもらうためには、「中名田は楽しいぞ」、「中名田はおもしろいぞ」と伝えることが大事だと思います。現在、小学校にボランティアチームを作っていますが、その子たちには、中名田は楽しいと思ってもらえるようになってきています。

赤坂 遠敷地区では、今のところ行事を一つ一つこなすのに精いっぱいですが、今後は、みんなで企画するところから楽しめるようにするのが目標です。

全員 各地区の目標に向けて、自分たちのまちを良くしようという思いは皆同じです。今後は、5地区で情報交換・連携しながら、まちづくりを進めていきましょう。

（9月5日① 中央公民館）



市民協働課
地村 知代 課長

すべての地区で
まちづくり協議会の設立を

皆さんのお話を伺って、メンバーの固定化や若者が少ないこと、後継者不足など、同じ問題で悩んでおられることがわかりました。行事に参加している自分たちが、まずは楽しむことによって「事業が継続できる」、「興味がある人が増えていく」という言葉がとても印象的でした。

今回のモデル地区以外の地区についても、「まちづくり協議会」を設立し、自分たちの地区の課題は何か、みんなで話し合い、「自分たちの地区を良くしよう」と地域がスクラムを組み、地域・住民主体のまちづくりを進めていたきたいと思っています。

平成
27年度

【広報アンケート結果】

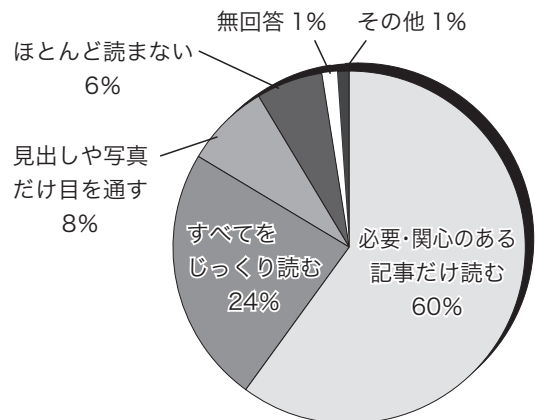
市民の皆さんから市の広報に対する意見を聞き、より親しまれる広報紙にするため、アンケートを実施しました。結果の一部を紹介します。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

■問い合わせ 市民協働課 ☎ 64・6009

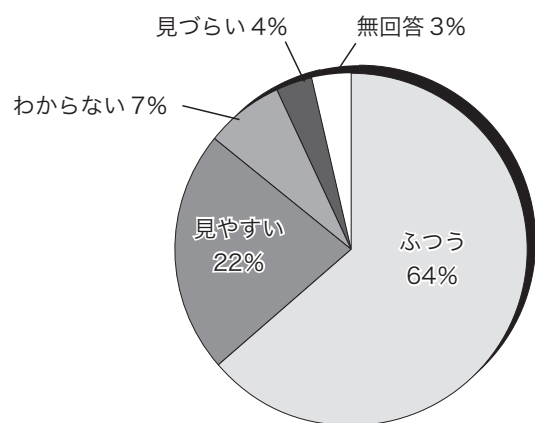
広報アンケートについて

7月10日から8月10日までの期間、無作為に選んだ20歳以上の市民1,000人を対象に市の広報についてのアンケートを実施しました。回答数は411人（女性239人、男性170人、無回答2人）でした。
※全結果は市公式ホームページで公開しています

■広報おばまをどのように読んでいますか



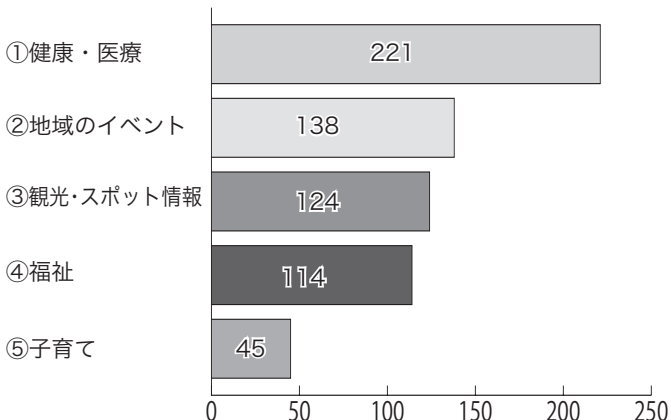
■広報おばまのレイアウトについてどう思いますか



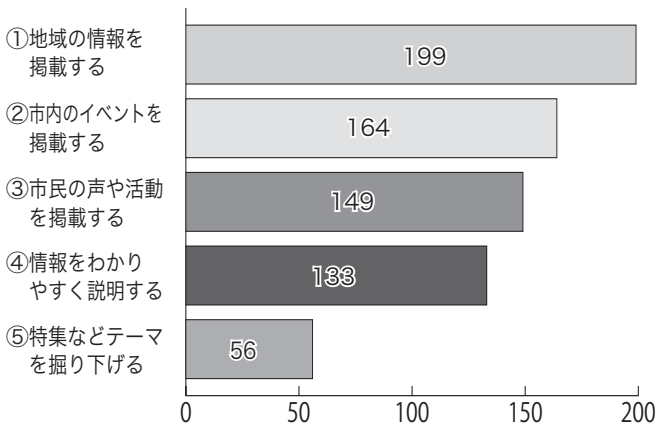
■ご意見の一部を紹介します

- ・市民の声・思いを聞き取ることに力を入れることが大事だと思います。
- ・新聞や広報おばまなど文字情報に加えて、HPなどでの情報発信を充実させてほしい。
- ・各号の表紙の表情（元気、明るさ）が良く、見る人に伝わり、毎号楽しみです。
- ・広報の題字を市内小学生の作品にしているところがステキ。
- ・文の横に写真があるとより目に止まります。写真と文のコラボこれからもよろしくお願いします。
- ・興味のひくようなタイトルの書き方を工夫してほしい。

■広報おばまに取り上げてほしい内容（複数回答可）



■どのような点を改善すればいいと思いますか（複数回答可）



- ・医療費の負担がかからないための注意事項をどこかに掲載し、毎月指導してほしい。認知症予防など。
- ・小浜市が取り組んでいる、若者が住める魅力あるまちづくりについて、広報してほしい。
- ・子どもたちの写真が多いのは、とても楽しく、ほほえましく思います。
- ・人の紹介はすごく良いと思います。プラス小・中・高・大学生などで、頑張っている人が大勢いると思います。
- ・若者などの紹介写真はもう少し小さくてもよいのでは。
- ・各地区の名所など順番に紹介してほしい。

ビンの分別

最近、色付きビンのラベルに「無色透明ビンとして廃棄できる」と書かれた商品があります。本市では、今まで通り、ビン本体の見た目の色による分別（透明、茶色、その他）になりますので、皆さんの協力ををお願いします。



生ゴミの水切り

生ゴミの重量のうち70%は水分と言われています。燃やすゴミとして捨てる前に、三角コーナーなどでしっかりと水切りすることで減量ができ、ゴミ袋の消費量や焼却処理にかかる費用を抑えることができます。生ゴミの水切り運動に協力をお願いします。

収集・回収方法

市では、ゴミの出し方に責任を持ってもらうために、ゴミ袋に区名と氏名の記入をお願いしています。個人情報取り扱いには細心の注意を払っていますが、ゴミを出す際は、個人情報が記載されているものはシュレッダーにかけるなど、工夫をお願いします。

缶詰の分別

缶詰の封を切らずに中身が入ったままゴミに出す人がいます。リサイクル施設での業務に支障をきたしますので、必ず中身を取り除き、水洗い後に分別をして出してください。塗料の残ったペンキ缶も同様にお願いします。



※塗料の残ったペンキ缶は程度によって民間業者でそのまま処理できるものもあります。詳細は環境衛生課へ問い合わせてください

スプレー缶の分別

スプレー缶を捨てるときは必ず穴を開けてください。屋内ではガスが滞留するため、穴を開けるときは、火の気がない、屋外の風通しが良いところで作業をしてください。ホームセンターでも穴開け器を販売しています。



農業用資材の分別

あぜシートやマルチシート、苗箱などを埋め立てゴミとして出す人がいますが、本市の施設では処理できません。JA若狭（☎56・5000）で年に1度回収しています。また、農業についてもJA若狭で年に1度回収しています。詳しくは問い合わせてください。

便利な
サービス

口座振替の申し込みを キャッシュカードで簡単に

市では、10月5日（金）から、金融機関のキャッシュカードを使って市役所の窓口で市税や上下水道料金などの口座振替の申し込みができる「ペイジー口座振替受付サービス」を始めます。金融機関に出向くことがなく、手続きができる便利なサービスですので、ぜひ利用してください。

【手続きの流れ】

①口座振替依頼書に記入・本人確認、②端末にキャッシュカードを通す、③暗証番号を入力、④申し込み結果を確認

【必要なもの】

- ・振替を希望する金融機関のキャッシュカード
- ・運転免許証などの本人確認ができるもの

【手続きができる料金などの種類と受付場所】

料金などの種類	受付場所
市県民税（普通徴収）、固定資産税、都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税	市役所1階 税務課 ☎ 64・6005
上下水道料金、下水道使用料、簡易水道使用料、農業集落排水使用料、漁業集落排水使用料、下水道受益者負担金・分担金	市役所2階 上下水道課 ☎ 64・6028

※福井銀行、福邦銀行、小浜信用金庫、北陸労働金庫、ゆうちょ銀行が利用可能な金融機関です

募集中

公共施設の 指定管理者を公募します

まちなか交流施設「まちの駅」（白鬚111-1）

市では、観光まちづくり計画に基づき、つばき回廊商業棟跡地に「まちの駅」を整備します。

指定期間 平成28年5月1日～31年3月31日
業務内容 旭座をはじめとするまちの駅施設を活用したにぎわいの創出、施設および設備の維持管理 ほか

募集期間 10月1日（金）～23日（金）

※募集要項、申請様式など詳しくは、商工観光課 ☎ 64・6021 まで問い合わせください

町並みと食の館（飛鳥108）

指定期間 平成28年4月1日～33年3月31日
業務内容 利用の許可、施設および設備の維持管理、飲食物の提供に関すること ほか

募集期間 10月1日（金）～23日（金）

※募集要項、申請様式など詳しくは、文化課 ☎ 64・6034 まで問い合わせください

YOSAKOI で華麗に躍動

「御食国若狭おばま YOSAKOI 祭 2015」に県内外から 24 チームが参加（川崎三丁目・9 月 13 日）



小さな命の大きさ学ぶ

小浜第二中学校の一年生 168 人が赤ちゃんの抱っこなどを体験（働く婦人の家・8 月 28 日）

いつもありがとう！

浜っ子こども園の園児 174 人が祖父母への手紙をポストに投函（川崎三丁目・9 月 11 日）



第九の調べ高らかに

12 月 13 日㊤の第九演奏会に向けて、合唱団員約 70 人が発会式に参加（文化会館・9 月 8 日）



平和への願い伝える

地蔵盆戦後 70 年企画で、広島平和記念資料館のピースボランティア・末岡昇さんが講演（高塚・8 月 24 日）



福井国体でも小浜が会場に

第29回全国中学生ウェイトリフティング競技選手権大会が開催。小浜からも 2 選手が出場（若狭東高校・8 月 19 日）



防災ヘー丸となって

県総合防災訓練で、救出訓練や炊き出し訓練、避難訓練などを実施（川崎三丁目・8 月 30 日）

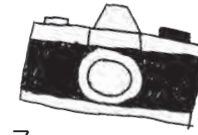


Photo News

フォトニュース



夏休みの宿題、できました！

内外海小学校の生徒 5 人が栽培漁業センターでの自由研究を発表（栽培漁業センター・8 月 25 日）

雲浜の人物像に迫る

梅田雲浜生誕 200 年を記念して郷土史研究家の村上利夫さんが講演（小浜商工会議所・9 月 14 日）



救える命を一つでも多く

コンビニエンスストア大手 3 社に AED を設置する協定を締結（若狭消防組合消防本部・9 月 2 日）



ボランティア約 100 人が参加

若狭おばま環境美化デーに、市民・団体・事業者・行政が協働で市内の清掃活動（川崎三丁目・9 月 5 日）

嶺南 6 市町の首長と議長が団結

北陸新幹線若狭ルート of の早期実現を求める意見書の県議会可決を要望（県議会議事堂・9 月 8 日）



◆健康・福祉◆

生活習慣病検診

健康管理センター☎52・2222

とき・ 10月21日㊥＝国富公民館
ところ (栗田)、23日㊤＝今富公民館(和久里)、29日㊥＝健康管理センター(南川町)、11月9日㊤＝サン・サンホーム(遠敷)、10日㊥＝若狭ふれあいセンター(日吉)
内 容 特定(基本)健診、がん検診(肺・胃・大腸・子宮頸・乳・前立腺)、C・B型肝炎ウィルス検査、骨検診

申込期限 検診日の7日前まで
※10月21日、23日、11月10日は子宮頸がん・乳がん検診、10月23日は骨検診がありません
※特定健診は、加入の健康保険者が発行した受診券が必要です

生活習慣病検診(日曜検診)

健康管理センター☎52・2222

とき 10月25日㊤
ところ 健康管理センター(南川町)
内 容 特定(基本)健診、がん検診(肺・胃・大腸・乳・前立腺)、C・B型肝炎ウィルス検査、骨検診
※定員がありますので、早めに申し込んでください

みんなであそぼ♪(子育て教室)

健康管理センター☎52・2222

とき・ 10月16日㊤＝松永公民館
ところ 館(上野)、22日㊥＝口名田公民館(下中井)、11月13日㊤＝遠敷公民館(市場) いずれも9時30分～11時30分
対 象 入園前の子どもと保護者
内 容 親子遊びや手作りおやつ
の試食、子育て相談など
参加費 無料

梅田雲浜生誕200年記念式典

■問い合わせ
文化課☎64・6034

梅田雲浜生誕200年記念
実行委員会では、「激動の幕
末をかけた梅田雲浜の人物像
に迫る!」をテーマに、幕末
史や勤王の志士の研究者を招
いて、基調講演会・地域交流
フォーラムを開催します。
と き 10月24日㊤
13時～17時
ところ 働く婦人の家(大手町)
参加費 無料

①基調講演会
「梅田雲浜と安政の大獄」
講師：佐々木克さん
(京都大学名誉教授)
②梅田雲浜ゆかりの地
地域交流フォーラム
③文化協会によるステージ
吟舞・剣舞、尺八・琴
※12時～15時お茶会実施
当日12時からお茶券(無
料)を配布

第3回 P-1 グランプリ

商工観光課

県内外から集まった各店自慢の
プリンを競う大会「P-1 グラン
プリ」を開催します。
と き 10月25日㊤10時～16時
(15時販売終了)
ところ 海のガーデン(川崎三丁目・
食文化館横)
入場料 500円
内 容 来場者に投票用紙を1人
1枚配布。各店のプリンを
購入して好きなプリン3
つに投票。投票数でグラ
ンプリを決定します
※問い合わせは、P-1グランプリ
実行委員会☎53・1981

健やかふるさと料理の会

健康管理センター☎52・2222

とき 11月15日㊤11時30分～
ところ JA若狭本店(遠敷)
定 員 先着100人
申し込み 10月15日㊥から健康
管理センターでチケット
を販売(1人2枚まで)。同
日10時から電話予約も可
※参加費など詳しくは問い合わ
せてください

日本地下水学会 秋季講演会

上下水道課☎内線213

「人といきものを育む地下水」を
テーマに大野市でシンポジウムが
開催され、小浜からも発表を行
います。市庁舎前から会場まで無料
送迎バスを運行します。
と き 10月23日㊤13時～
ところ 多田記念大野有終会館
(大野市天神町)
内 容 小浜の地下水調査や海底
湧水に関する研究発表
参加費 無料
※バスは9時40分に出発。申し
込みは上下水道課まで電話にて



1日限りのスイーツ&ライブ!!

食文化館☎53・1000

福井市から高浜町までの音楽
アーティストとスイーツ店舗が一
同に会するイベントです。同時に
販売も行われます。
と き 10月24日㊤10時～17時
ところ 食文化館テラス(川崎三丁目)
料 金 無料

海のシルクロード音楽祭

文化会館☎53・9700

国指定重要文化財でもある羽賀
寺本堂にてレインボウボイスと称
される歌声とさまざまな民族楽器、
舞踏の融合をお楽しみください。
と き 10月17日㊤16時30分～
ところ 羽賀寺本堂(羽賀)
出 演 YURAI(えま&慧奏)+ERICA
料 金 一般2,500円
高校生以下1,000円
※未就学児不可。託児有
(要予約)
内 容 歌、民族打楽器、二胡、
月弓、即興舞踏

はまかぜ寄席

文化会館☎53・9700

と き 10月25日㊤14時～
ところ はまかぜプラザ(酒井)
出 演 笑福亭鶴二、桂慶治朗
料 金 一般1,500円
小中学生500円

親子音楽イベント「オトユウラク」

文化会館☎53・9700

乳幼児から小学校低学年を対象
に親子で楽しむ音楽ワークショッ
プを開催します。
と き 10月3日㊤
13時30分～
ところ 食文化館テラス(川崎三丁目)
料 金 親子1組1,000円
※子ども3人まで
出 演 PONchan(ミュージシャン)

つきイチ『バラエティー』

文化会館☎53・9700

お昼休みのひととき、お誘い合
わせのうえ気軽にどうぞ。
と き 10月7日㊥
12時20分～13時
ところ 庁舎市民ホール(大手町)
内 容 若狭ギターアンサンブル
による「爽やかな風を
ギターの音色にのせて」
料 金 無料

福滋県境交流促進協議会
会員市町イベント予定

■協議会への問い合わせ
人口増未来創造課☎内線343

長浜 アートインナガハマ
時 10月3日㊤～4日㊤
場 長浜市街地一帯
(長浜市元浜町)
問 アートインナガハマ事務局
☎0749・65・0393

米原 米原曳山まつり
時 10月10日㊤～12日㊤
場 湯谷神社
(米原市米原)
問 米原市商工観光課
☎0749・58・2227

敦賀 敦賀観光物産フェア
時 10月24日㊤～25日㊤
場 きらめきみなと館
(敦賀市桜町)ほか
問 敦賀市観光交流振興課
☎0770・22・8128

美浜 みはまナビフェス産業部門
時 11月7日㊤～8日㊤
場 美浜町役場周辺特設会場
(美浜町郷市)
問 美浜町農林水産課
☎0770・32・6706

若狭 熊川いっぶく時代村
時 10月4日㊤
場 熊川宿一帯(若狭町熊川)
問 若狭町歴史文化課
☎0770・62・2711

くらしの
情報

10月

◆イベント◆

第23回 白檜祭

人口増未来創造課

県立大学小浜キャンパス学校祭
「白檜祭」が開催されます。
と き 10月3日㊤、4日㊤
いずれも10時～18時
ところ 県立大学小浜キャンパス
(学園町)
内 容 海秋鍋ふるまい、ライブ、
仮装大会、菓子まきなど
※さかなクン(魚類学者)による
トークショーは4日㊤の14時から
※問い合わせは、県立大学小浜キャンパス☎52・6300

小浜 OBAMA 食のまつり
時 10月10日㊤～11日㊤
場 川崎(食文化館前)
問 市商工観光課
☎64・6020

おおい おおい うみんぴあフェスタ
時 10月3日㊤～4日㊤
場 うみんぴあ大飯
(おおい町成海)
問 おおい町産業振興連絡協議会
☎0770・77・4055

高浜 高浜町産業まつり・ふぐ祭り
時 11月3日㊥㊦
場 若狭たかはまエルどらんど
(高浜町青戸)
問 高浜町商工会
☎0770・72・0226

サポステふくい出張相談会

商工観光課

ふくい若者サポートステーションでは、若者の就労支援を行う無料の出張相談会を開催します。

と き 10月9日㊟ 12時～16時

ところ 働く婦人の家（大手町）

対象者 15歳から39歳までの就職を希望する無職の若者およびその家族、サポステの支援を受けて就職した人

内 容 個別相談および各支援機関の事業紹介

申し込み サポステふくい☎0776・21・0311（9時～17時）
メール:info@fukui-yss.com

職場での悩みごと無料相談会

商工観光課

県労働委員会では、解雇や賃金、労使関係への悩みに専門家が応じる無料の相談会を開催します。

【福井会場】

と き 10月4日㊟

13時30分～16時30分

ところ アオッサ（福井市手寄）

【丹南会場】

と き 10月18日㊟

13時30分～16時30分

ところ 鸛陽会館（鯖江市桜町）

※秘密厳守。予約不要

※詳しくは、県労働委員会事務局
☎0776・20・0597 まで

乾燥肥料の無料配布

衛生管理所☎52・1522

し尿を処理したあとに出来る「乾燥肥料（果樹や野菜の栽培に最適）」を無料で配布します。

と き 10月4日㊟8時30分～

ところ 衛生管理所（荒木）

個 数 1人20袋まで（なくなりしだい終了）

※開封後はできるだけ早く散布し、必ず覆土してください

家屋評価にご協力を

税務課☎内線 133

市では、固定資産税、都市計画税の適正課税のため、家屋評価を実施しています。税務課職員が事前に調査依頼の連絡を行い、日程を調整しますので、ご協力をお願いします。

対 象 平成27年1月1日以降に新築または増築した家屋
※家屋を取り壊した場合は、翌年度に税金がかからないように、本年中に家屋滅失申告書を税務課まで提出してください

オータムジャンボは 県内の市町で購入を

福井県市町振興協会☎0776・57・1633

新市町村振興宝くじオータムジャンボの収益金は、市や町の明るく住みよいまちづくりに使われます。

発売期間 10月16日㊟まで
（売り切れしだい終了）

※県内の市町で購入をお願いします



勤労者生活安定資金

商工観光課☎53・9705

市では、北陸労働金庫と提携して、無担保・低金利で安心なローンを提供しています。

対 象 市内に住所を有する勤労者
貸付金使途 生活の安定と福祉の向上に必要な資金

限度額 1人150万円以内

貸付利率 期間3年以内＝年利1.3%

期間3年以上5年以内＝年利1.6%

※いずれも固定金利で8月1日現在

※保証料が別途必要です

◆お知らせ◆

議会報告会

議会事務局☎64・6035

小浜市議会では、議員が4班に分かれ、市内全12地区の公民館で議会報告会を開催します。

①10月21日㊟ 19時～21時

雲浜公民館（城内二丁目）、西津公民館（北塩屋）、内外海公民館（阿納尻）、国富公民館（栗田）

②10月23日㊟ 19時～21時

小浜公民館（日吉）、宮川公民館（加茂）、今富公民館（和久里）、加斗公民館（上加斗）

③10月27日㊟ 19時～21時

松永公民館（上野）、遠敷公民館（市場）、口名田公民館（下中井）、中名田公民館（下田）

内 容 議会報告、北陸新幹線若狭ルートについて、意見交換

市民サービスコーナー 休業

市民課☎64・6017

市民サービスコーナーは、マイナンバー制度対応準備のため、下記の期間は休業します。

期 間 10月3日㊟、4日㊟

市立図書館 臨時休館

市立図書館☎52・1042

市立図書館は、図書館システムの入替えおよび蔵書点検のため、下記の期間は臨時休館します。

期 間 10月6日㊟～20日㊟

※整理休館日にあたる10月28日㊟は開館します

小浜町並み保存資料館 休館

文化課☎64・6034

小浜町並み保存資料館の移転に伴い、10月19日㊟から閉館します。

※新資料館の開館は平成28年1月初旬からを予定しています

ひとり親家庭の巡回就業相談

社会福祉課

ひとり親家庭の母などの自立促進を目的に、就労相談や技能訓練講座の就業支援を行います。

と き 10月22日㊟ 13時～15時

ところ 若狭健康福祉センター（四谷町）

※電話☎52・1300での相談も受け付けています

※相談は無料。秘密は固く守られます

障がい者パソコン講座

社会福祉課

県障害者ITサポートセンターでは、Wordで年賀状の文面を作るパソコン講習会を開催します。簡単にできる写真の加工も行い、作ったデータは持ち帰れます。

と き 10月9日㊟

13時30分～15時30分

ところ 県産業情報センター嶺南支所（白鬚）

対 象 県内在住の肢体または内部障がいのある人

定 員 先着8人

受講料 無料

申込期限 9月30日㊟

※申し込みは、県障害者ITサポートセンター☎0776・27・1632

要支援者台帳の見直し

健康長寿課☎内線 174

高齢者世帯などの要支援者台帳の見直しに協力をお願いします。

対 象 65歳以上のひとり暮らし高齢者および高齢者世帯

作成方法 各区の民生委員が訪問するので、緊急連絡先や災害時避難支援の要否などについて記入してください

※台帳に記入いただいた情報を、必要に応じて関係機関に情報提供ができるよう、承諾欄に記入をお願いします

※災害時の避難など不安がある人は、民生委員または健康長寿課まで問い合わせてください

ひとり親家庭のつどい

社会福祉課

と き 10月31日㊟

10時～14時30分

ところ 中央公民館（大手町）

対 象 ひとり親家庭の親子

参加費 500円

内 容 小物作りと食事会

申込期限 10月10日㊟

申し込み 市母子寡婦福祉連合会会長の小角さん☎52・6651

高齢者インフルエンザ予防接種

健康管理センター☎52・2222

と き 10月15日㊟～12月31日㊟

ところ 指定医療機関

対 象 次のいずれかに該当する人

①満65歳以上（昭和25年12月31日以前生まれ）の市民

②満60歳以上65歳未満で、内部障害の身体障害者手帳1級程度の市民

※②の人は本人の申し込みが必要です

料 金 2,200円（生活保護受給者は無料）

※ワクチンの変更により料金が上がります

※医療機関への事前予約が必要です

食中毒に気をつけましょう

健康管理センター☎52・2222

涼しくなっても油断は禁物です。食事前には手をきれいに洗うなど、家族みんなで予防しましょう。

予防の三原則

「ヒト・食品・器具の清潔保持」

「迅速な調理と冷蔵保存」

「充分な加熱調理」

|| 特別児童扶養手当等をご存知ですか

【特別児童扶養手当】

支給対象

障がいのある児童を監護する親、もしくは親に代わって児童を養育している人

該当児童

20歳未満で法令により定められた程度の障がいの状態にある児童

手当て

1級 51,100円（月額）

2級 34,030円（月額）

【特別障害者手当】

支給対象

身体障害者手帳1級・2級、療育手帳A1程度の障がいを重複するか、単一の最重度障がいであって常時特別の介護を要する20歳以上の在宅者（3カ月以上入院している場合は該当しない）

手当て

26,620円（月額）

■問い合わせ 社会福祉課☎内線186

【障害児福祉手当】

支給対象

身体障害者手帳1級、療養手帳A1程度の障がいを持ち、常時介護を要する20歳未満の在託児

手当て

14,480円（月額）

※各手当てとも本人および家族の所得によって支給制限があります。詳しくは問い合わせてください

秋の山を一緒に登りませんか

生涯学習スポーツ課

小浜山の会では、恒例の「一緒に登りませんか」の参加者を募集しています。下山後は、北国街道を散策して帰ります。

と き 11月8日④8時集合
県嶺南振興局(遠敷一丁目)庁舎駐車場集合・19時30分頃同所で解散予定

ところ 呉枯ノ峰(滋賀県)532mと菅山寺(山中にある古刹)

対 象 小学生以上

定 員 先着30人
参加費 5,000円(小学生は3,000円) ※バス代含む

申し込み 10月25日④までにボランティア・市民活動交流センター☎52・7837へ

雇用・年金 何でも無料相談会

福井県社会保険労務士会嶺南支部☎52・3263

と き 10月9日④10時～16時
ところ 市庁舎市民ホール(大手町)
相談内容 健康保険、年金制度、雇用保険、労災保険、労働問題などについて

※予約不要

◆スポーツ◆

テニスまつり

生涯学習スポーツ課

と き 10月12日④⑤
10時～テニス教室
11時～エンジョイゲーム

ところ 総合運動場(口田縄)

参加費 無料

※問い合わせは、市テニス協会担当の出口さん☎090・1898・1934

行政改革懇談会 委員

財政課☎64・6010

第5次行政改革大綱の改定(数値目標の見直し)にあたり、市の行政改革について意見などをいただく「行政改革懇談会」の委員を募集します。

対 象 平日昼間の会議数回に参加できる20歳以上の市民

申込期限 10月9日④

※申し込みは財政課設置の応募用紙で

市交通安全運転者講習会

生活安全課☎64・6007

と き 10月29日④
第1部 13時30分～
第2部 19時～

ところ 中央公民館(大手町)

※安全運転講習証または交通安全協会会員証を持っている人は持参してください

季節の調理体験～10月編～

御食国若狭おばま食文化館☎53・1000

と き 10月8日④、10日④、19日⑤

いずれも10時～13時

ところ 食文化館(川崎三丁目)

内 容 何種類かの魚をさばいて、天ぷら、煮魚、焼き魚などに調理

定 員 各先着30人

参加費 700円

申込期限 実施日の3日前

成人大学講座

生涯学習スポーツ課☎64・6033

「健康で社会参加ができるコッ」をテーマとした、いつまでも若々しく健康で過ごすためのコッと、誰でもできる社会参加の話です。

と き 10月14日④
14時～15時30分

ところ 中央公民館(大手町)

講 師 水上喜美子さん(仁愛大学准教授)

受講料 無料

※申し込みは生涯学習スポーツ課まで電話にて

筆談者養成研修 受講生

社会福祉課

障がい者スポーツの祭典「福井しあわせ元気大会」の成功には、筆談ボランティアの協力が不可欠です。聴覚に障がいのある人が大会を楽しめるよう、筆談の技術を身に付けませんか。

と き 10月31日④～12月5日④の毎週土曜日

いずれも13時～16時
※11月28日④は休講

ところ 敦賀市男女共同参画センター(敦賀市三島町)

申込締切 10月28日④

※申し込みや問い合わせは、県障害福祉課☎0776・20・0338

◆募集◆

認定こども園・保育園 入園

社会福祉課☎64・6013

平成28年4月からの、私立・公立保育園および認定こども園(保育園部・幼稚園部)などの入園申し込み受付を開始します。

受付期間 10月1日④～11月2日⑤
※土日・祝日を除く

申込方法 社会福祉課または市内各保育園、浜っ子こども園に備え付けの申込書と必要添付書類(就労証明書や状況に応じた証明書など)を提出

※育児休業が明けるなどの理由で年度途中の入園を希望する人も、期間中に必ず申し込んでください

市営住宅(下半期)空家入居申込者

都市整備課☎64・6026

対象住宅 市内各団地住宅の空き家
※詳細は問い合わせください

申込期間 10月1日④～30日⑤
※期限厳守

抽選日 11月27日⑤10時

その他 申込書は都市整備課で配布

地産地消をすすめる店 食の達人・食の語り部

御食国若狭おばま食文化館☎53・1000

【地産地消をすすめる店】

対 象 市内、若狭地域で生産される農林水産物、その加工品を積極的に取り扱う食料品店、飲食店

【食の達人・食の語り部】

対 象 食に関する優れた技術や知識を有する人

募集期間 10月1日④～10月31日④

申し込み 所定の申込書(食文化館、各公民館に設置)に必要な事項を記入のうえ、食文化館まで提出

季節の調理体験レシピ集 平成26年度版 販売

御食国若狭おばま食文化館☎53・1000

食文化館では、「季節の調理体験」のレシピ集を販売しています。

販売開始 10月10日④

販売場所 食文化館(川崎三丁目)

料 金 1冊500円



10月1日は「浄化槽の日」

上下水道課

浄化槽を設置している人は、年1回の法定検査を受けましょう。

内 容 浄化槽からきれいな処理水が放流されているかを確認するための検査

申し込み 北陸公衆衛生研究所 ☎0776・22・0491

※保守点検や清掃(汚泥のくみ取りなど)とは別の検査です

※河川の水質保全のため、野菜くずや油を流さないなど適正な管理をお願いします

10月はクルマに頼りすぎない社会づくり推進月間です

人口増未来創造課

県は、全国トップのクルマ依存社会です。クルマに依存した生活は、地球温暖化の進行や公共交通機関の衰退につながります。

●環境に優しい電車・バス・自転車を積極的に利用しましょう。

●クルマはなるべく相乗りし、過度な利用は控えましょう

※電車やバスの運行情報は「ばす・でんしゃナビふくい」<http://koutsu.pref.fukui.jp/>

※問い合わせは、県交通まちづくり課☎0776・20・0291まで

小浜を盛り上げる

地域おこし
協力隊
が行く!



④商工観光課
☎内線220

VOL.6「ひまわり畑と祭礼」

ハラです。夏の果物と言えばスイカ。スイカの味に夏を感じつつ、目で楽しんだのが「宮川のひまわり畑」でした。8月中旬が見ごろだったのですが、あいにくの天気が続き、写真はどれも曇り空。それでも、美しく咲き誇るひまわりは、凛として綺麗でした。

また、夏から秋へのこの時期に多いのが、五穀豊穡の祭礼です。祭礼は、その土地に残る大事な伝統行事の一つですが、全国的に消えつつあります。地域の交流の場にもなっている小浜の祭礼は、ずっと続いてほしいと思います。



舞鶴市からのお知らせ

赤れんがフェスタ in 舞鶴2015

秋の恒例行事「赤れんがフェスタ」を赤れんがパーク一帯で開催します。全国各地のクラフトマンが集まるアート&クラフトフェア(作品の展示販売、ものづくり体験)や、JAZZやヒップホップなどのステージパフォーマンスのほかご当地グルメも大集合。ぜひ家族そろってお越しください。

と き 10月24日④10時～17時

25日④10時～16時

ところ 赤れんがパーク(舞鶴市宇北吸)

【旧軍港四市の味を食べ比べ】

24日④には、旧軍港市の呉市、佐世保市、横須賀市、舞鶴市による「旧軍港四市グルメ交流会」も同時開催。各市のご当地グルメが味わえます。



■問い合わせ
舞鶴市文化振興課
☎0773・66・1019
※四市グルメ交流会は
舞鶴市観光商業課
☎0773・66・1024

日赤小浜市地

団体をつなぐ 人の架け橋に

今年3月まで小浜消防団の団長を務めさせていただきました。これまで別々に活動していた消防団と赤十字奉仕団とが連携協力できれば、より災害に強い体制になると思い、話し合いを進めてきました。消防団の任期が終わったので、同じく任期を終えた分団長経験者に呼びかけ、男性8人で赤十字奉仕団に入ることになりました。わたしたちが、団体同士をつなぐ架け橋になればうれしいですね。

災害などで困っている人を助けることが、ひいては自分や家族、地域を守ることにつながっていると思います。赤十字や消防の活動に協力をいただける人の輪を広げられるよう頑張りたいです。

小浜市赤十字奉仕団 団員募集

赤十字奉仕団は「人道・博愛」の精神に基づき活動しています。災害救護・炊き出し・募金活動などを行っています。団員随時募集中。性別・経験は問いません。地区ごとに分団長がいます。詳しくは、委員長の本馬さん ☎ 56・0780 まで

◀ 8月30日(日)の県総合防災訓練に参加した赤十字奉仕団男性団員の皆さん。右前が竹中さん

きらり！小浜人 Obama Star

小浜市赤十字奉仕団 竹中 嘉浩 さん (53 歳・加茂)

プリンス&プリンセス Prince&Princess

なかじま こうへい

中島 広平 さん (26 歳・奈胡) 小浜製網(株) 勤務

自分でモノを売るうれしさ

現在、山陰地方の漁師さんを相手に、ロープなど漁具全般の営業をしています。

県外の大学に通っていましたが、人情味のある小浜に戻って、人と話す営業の仕事がしたいと思い、この会社に入社しました。

初めは山陰地方の方言に戸惑いましたが、取引先の漁師さんたちを何度も訪れて、初めて名前を覚えてもらった時はうれしかったですね。

主な営業先まで400km以上あり、長時間の移動はつらいですが、その分、自分でモノを売った時のうれしさややりがいは大きいですよ。

ここのロープでないと扱えないわ、と全国の方から言われる会社を目指して、これからも頑張りたいですね。

▶次号は、
松尾 ひとみさん(25歳・水取一丁目)
にバトンタッチします

子どもの成長を見守りたい

少年柔道教室には、現在市内の小学生の男女18人が所属しています。毎週練習を積むとともに、年10回ほど大会に出場しています。

柔道で大切なものは、「礼儀」だと思っています。わがままを通すのではなく、相手の立場に立って考える力を養うことが、試合でも勝つことにつながります。

試合や練習でつらいことがあっても、今より強くなろうと柔道に取り組み、成長していく子どもたちの姿をこれからも見守っていきたいです。

小浜市柔道連盟では、毎週月・木曜日の19時30分から武道館（後瀬町）で少年柔道教室を開催しています。興味のある人は、ぜひ見学にお越しください。

日本の心を表現する楽器

当会は50代～60代の男性4人で活動している団体です。また、伝統文化子供教室でも尺八の手ほどきを行っています。

尺八の音はなかなか出ないものと思われていますが、正しい方法で学べば簡単に音は出るものです。その音色は日本人の心、わびやさび、また禅の心にも通じていると思います。

尺八と出会い、約50年にわたり関わってまいりました。今なおさまざまな先生に教を乞いながら、次世代にどうして伝えていったら良いか、伝えていかねばならないという使命感を持ち頑張っています。興味のある人は、文化会館 ☎ 53・9700 までお問い合わせください。



毎月の伝統文化教室の様子（文化会館・8月22日）

イチ押し！トップアスリート Top Athlete

みくに よしひさ
小浜少年柔道教室 指導員 三國 嘉久 さん (39 歳・北川)

10月カレンダー※印のついた催しは要予約です。内容は変更される場合があります。

日	催し、イベント など	休館日	休日当番医
1日 ㊦			
2日 ㊧			
3日 ㊨	10時～ 第23回白檜祭（4日も・県立大学小浜キャンパス※詳細は P10） 10時30分～ よちよちおはなしかい（0～2歳向け・市立図書館☎52・1042） 11時～、14時30分～ なかよしおはなしかい（3歳以上向け・市立図書館☎52・1042） 13時30分～ 親子音楽イベント「オトユウラク」（食文化館※詳細は P10）	市民サービスコーナー	
4日 ㊩		市民サービスコーナー	★本馬医院（水取一丁目） ☎52・2233
5日 ㊰		温水プール	
6日 ㊱		市立図書館	
7日 ㊲	9時30分～ のびのび広場「運動会」※（子育て支援センター☎56・3386） 12時20分～13時 つきイチ「バラエティー」（市役所※詳細はP10）	市立図書館	
8日 ㊳	10時～13時 季節の調理体験※（食文化館 ※詳細は P14）	市立図書館	
9日 ㊴	12時～16時 サポステふくい出張相談会※（働く婦人の家※詳細は P13）	市立図書館	
10日 ㊵	10時～ OBAMA 食のまつり（11日も・川崎特設会場※詳細はP10） 10時～13時 季節の調理体験※（食文化館 ※詳細は P14）	市立図書館	
11日 ㊶		市立図書館	いちせクリニック（南川町） ☎53・2415
12日 ㊷ 祝	10時～ テニスまつり（総合運動場※詳細は P15）	市立図書館 市民サービスコーナー	★小津外科医院（日吉） ☎52・0027
13日 ㊸	9時30分～ 全園すくすく広場※（市内各公立保育園）	市立図書館 温水プール	
14日 ㊹	10時～、11時～ おひざでだっこの会※（若狭図書学習センター☎52・2705）	市立図書館	
15日 ㊺		市立図書館	
16日 ㊻		市立図書館	
17日 ㊼	16時30分～ 海のシルクロード音楽祭（羽賀寺※詳細は P10）	市立図書館	
18日 ㊽	10時30分～ 第7回ウェルカム！こども企画（若狭図書学習センター☎52・2705）	市立図書館 市民サービスコーナー	★木村医院（四谷町） ☎53・1260
19日 ㊾	10時～13時 季節の調理体験※（食文化館 ※詳細は P14）	市立図書館 温水プール	
20日 ㊿	9時30分～ 子育てサロン「ベビーマッサージ」※（子育て支援センター☎56・3386）	市立図書館	
21日 ㊿			
22日 ㊿			
23日 ㊿			
24日 ㊿	10時～1日限りのスイーツ＆ライブ（食文化館※詳細は P11） 11時～おばま児童文学会「風夢」のおはなし会（市立図書館☎52・1042） 13時～ 梅田雲浜生誕 200 年記念式典（働く婦人の家※詳細は P11）		
25日 ㊿	9時～17時 休日納付窓口開設（税務課） 10時～ 第3回 P-1 グランプリ（海のガーデン※詳細は P11） 14時～ はまかぜ寄席（はまかぜプラザ※詳細は P10）		★田中整形外科医院（千種一丁目）☎52・6868
26日 ㊿	9時30分～12時 子育てワイワイ広場（健康管理センター）	温水プール	
27日 ㊿		市立図書館	
28日 ㊿	9時30分～ のびのび広場「10月お誕生会」※（子育て支援センター☎56・3386）		※★印のついた医院が休日当番医の場合、杉田玄白記念公立小浜病院（大手町）で小児科医が休日診療を行います
29日 ㊿			
30日 ㊿	9時30分～ 子育てサロン「子育て講演会」※（子育て支援センター☎56・3386） 20時まで 夜間納付窓口開設（税務課）		
31日 ㊿			

※毎週金曜日（祝日・年末年始を除く）、市役所 1 階の窓口（市民課・健康長寿課・社会福祉課・税務課・環境衛生課・会計課）では、執務時間を 18 時 30 分まで延長しています

各種相談日程※印のついた相談は要予約です。相談は基本的に無料です。内容は変更される場合があります。

相談名	開催日	時間	会場	問い合わせ
法律相談（消費生活トラブル）※	1日 ㊦	14時～16時	嶺南消費生活センター	同☎52・7830
結婚相談	1日 ㊦ 、15日 ㊦	9時30分～11時30分	文化会館	社会福祉課☎64・6011
結婚相談（本人のみ）	24日 ㊤	13時30分～15時30分		
家庭教育相談	3日 ㊤ 、17日 ㊤	14時～17時	中央公民館	同☎53・1336
エイズ・肝炎相談、検査	5日 ㊰ 、19日 ㊰	9時～10時30分	若狭健康福祉センター	同☎52・1300
精神保健相談※	6日 ㊱ 、20日 ㊱	9時30分～11時30分	若狭健康福祉センター	同☎52・1300
出張年金相談※	8日 ㊦ 、22日 ㊦	10時～12時、13時～15時	文化会館	敦賀年金事務所 ☎0770・23・9905
心配ごと相談	14日 ㊰	13時～16時	サン・サンホーム小浜	社会福祉協議会☎56・5802
高齢者専門相談（法律）※	15日 ㊦	13時～16時	嶺南地域福祉相談・介護実習普及センター	同☎52・7832
建築相談※	15日 ㊦	14時～16時	嶺南消費生活センター	同☎52・7830
身体障がい者相談	16日 ㊧	13時～14時	公立小浜病院	社会福祉課☎64・6012
スクスク元気っ子教室	20日 ㊱	10時～10時30分受付	健康管理センター	同☎52・2222
行政相談	20日 ㊱	13時30分～14時30分	市役所 401 会議室	市民協働課☎内線 373
特設人権相談	21日 ㊦	13時～15時	働く婦人の家	法務局☎52・0238
断乳相談	26日 ㊰	10時～11時	健康管理センター	同☎52・2222
母乳育児相談	26日 ㊰	11時～11時30分	健康管理センター	同☎52・2222

先祖供養のご相談は是非当社へ!!
安心と信頼 地元の石屋さん

(有)杉田石材店

お気軽にお問い合わせください
お墓ディレクター（1級）在籍
（日本石材産業協会登録第 12-100024 号）

小浜市小浜広峰 55
☎ (0770) 52-0748・FAX (0770) 52-0853

安全と快適を生む環境づくり。
ビル総合管理・警備保障システム

AIVIX

株式会社アイビックス

若狭支店／917-0241 小浜市遠敷 7 丁目 112
TEL:0770-56-0266 FAX:0770-56-0268

au お得な情報をとどけっ！

facebook 「e-コミュニケーション」で検索

twitter **@aushopobama**

auショップ小浜
☎0800-7002298



毎週木曜日はシルバーデー

入浴料 400円
通常500円のところ

65歳以上のお客様に
限ります。
※身分証明書の提示が必要です

小浜市川崎3-4 御食園若狭おばま
食文化館内
TEL0770-53-4126
お食事場だけの利用もできます！

濱の湯

はましんの自動車ローン

カーチャおう!

優遇金利にて **大特価!!** 販売中です。

最長 最高
10 500
年 万円

はましん **小浜信用金庫** CKSM

お問い合わせはお近くのはましんまで！

山文呉服店
BONGROUP

創業祭

10月3日㊤ 9時～19時
4日㊶ 9時～19時
5日㊰ 9時～17時

会場：サンホテルやまね
3 階ホール

人の動き（9月1日現在）

・人口 30,405 人
（前月比 -4 人）
（前年同月比 -267 人）
男性 14,828 人
女性 15,577 人
世帯数 11,870 世帯

・異動 転入 49 人
転出 43 人
出生 25 人
死亡 35 人

編集後記

●7月から8月にかけて広報アンケートを実施しました。回答いただきました皆さんありがとうございました▶結果を一部抜粋して P7 に掲載するとともに、市公式ホームページでも公開しています▶来月 11 月号ではアンケート内容を反映させたりリニューアルを予定しています▶広報おばまが、より多くの人に愛される紙面になりますよう、今後とも皆様のご支援をお願いします（松）

●祖父母への手紙投函の取材で保育園児の散歩に随行していると、たった数百mの距離でも転んだり木の实を拾ったりと大忙し▶今思えば少しの距離でも大冒険だったな、と自分の子ども時代を思い出しました▶「子ども時代は二度と来ない。でもバカは一生続く」とは映画『スタンド・バイ・ミー』の台詞▶多少の冒険心は、何歳になっても心の片隅に持っていたいものですね（仲）



広報おばま
No.742 平成27年9月25日(金) 発行

発行 福井県小浜市
〒917-8585 小浜市大手町6番3号
編集 企画部市民協働課 ☎64・6009

ホームページ <http://www1.city.obama.fukui.jp/>
電子メール kouhou@city.obama.lg.jp
印刷 若越印刷(株) 小浜営業所

今月の一枚



金色に実る稲穂 けんこくでん 献穀田 (上野)



収穫に感謝する宮中祭祀「新嘗祭」に献上する「供御米」が、小浜東部営農生産組合の広さ1アールの田んぼに実りました。(9月11日撮影※下記写真も参照)

登録しよう！ 防災メール

市では、メールで災害や避難の情報を知らせています。ウェブサイト (<http://bousaiobama-mail-dpt.jp/>) か、下記のQRコードを携帯電話で読み取り、手続きを行ってください。



|| ホットフォト Hot Photo

まちのニュースを写真でお届けします！



上／地区対抗バスケットボール大会が開催。今富が3連覇を達成(小浜中学校・8月30日)
左上／供御米献穀田拔穂式で稲を刈り取る奉耕者の西田尚夫さん(上野・9月11日)
左下／市内公立保育園で、「運動遊び」事業の巡回訪問がスタート(遠敷保育園・9月4日)